



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316
☎048-977-5441 FAX048-977-2031
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

同窓会20周年記念式典について

平成10(1998)年に発足した本校同窓会も今年で20周年を迎えることができました。石井征次先生や紀内恒久先生などにご協力いただき、同窓会発足に向けての準備が始まり、平成10(1998)年10月11日に本校体育館で、設立総会が開催され、ここに同窓会が正式に発足しました。

同窓会として、40歳の区切りの年に行っている「ホームカミングデー」、20歳の区切りに行っている「まほろばの会」など、各期の幹事の皆様をはじめ、多くの卒業生に支えられここまで来ることができました。心より感謝申し上げます。

本年は、左記の通り20周年記念式典を開催させていただくことになりました。石井征次先生をはじめ、1期生の先輩方にとって懐かしい先生方はもちろんのこと、今春退職されたばかりの柳町道廣先生や卒業したばかりの35期生にとっても会いたい先生方をお招きして、懐かしい校舎にて行います。懐かしい仲間をお誘い合わせの上、ご参加いただきたくお願い申し上げます。

〔日時〕 平成29年10月15日(日) 13時

式典…本校第二体育館

〔場所〕

懇親会…本校食堂

〔会費〕 3000円



会報16号



会報13号



会報10号



会報7号



会報4号



会報1号



会報17号



会報14号



会報11号



会報8号



会報5号



会報2号



会報18号



会報15号



会報12号



会報9号



会報6号



会報3号

同窓会設立20周年にあたって



校長
百合 壽紀

2017(平成29)年4月1日付で獨協埼玉中高等学校の校長に就任いたしました。1980年の獨協埼玉高等学校開校とともに英語科教諭として働き始め、今年で38年目になります。

この38年間で社会は大きく変わりました。グローバル化が進展し、コンピュータやAIが社会の隅々まで普及してきました。こうした社会の変化に応じて本校の教育も変わって行くことは当然ですが、同時に、昔からののびのびとした校風も保っていきたくと考えています。獨協埼玉の良さを維持しつつ、さらに発展させるべく力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援いただければ幸いです。

さて、今年も、長い間本校の教育を支えてくださった3人の先生方が、3月末日を以てご退職になりました。前校長の柳町道廣先生と

理科の中山郁雄先生、および数学科の浅川之雄先生です。柳町先生は3期9年の長きにわたり校長職をお務めになり、獨協埼玉の新たな礎を築かれました。中山先生は定年退職後も獨協埼玉で非常勤講師として化学を教えていらっしゃいます。浅川先生は早期退職を選ばれ、現在は趣味のテニスに集中されているとのこと。これまでの学校に對するご貢献に感謝するとともに、今後ともお元気で活躍されることをお祈りしたいと思います。

同窓会は、玉山会長はじめ幹事の皆さんのご尽力もあり、今年、設立20周年を迎えます。10月15日(日)には記念式典およびホームカミングデーが開催されることになっていきますので、大勢の方々に参加していただき、母校の現在の姿を見つづ旧交を温めてもらえればと願っています。

同窓会発足20年目という節目の年を迎えます。その節目の年にあわせて式典ならびに講演会を行う事としました。これまでも機会を設けて本校の校長経験者や卒業生などを招きまして講演会を企画しておりましたが、このたびオリンピックで躍有名になった至学館大学レスリング部の栄監督をお招きすることになりました。栄監督にはどのようにメダリストを作り上げていかれたか、指導者として名伯楽になられるまでのご苦労や指導者として大切にしていることなどを伺えればと思います。この講演をお聴きいただけたらきっと私たちが生きる上で必要となるであろう「勇気と決断と行動力」の重要性をご理解いただけるでしょう。この講演が必ずや皆様のこれからの人生の

新しい風に向かつて



同窓会会長
玉山 栄一

会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会活動へのご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年と同窓会発足20年目

ヒントになりうると確信しておりますので、是非とも多くの方に足を運んでいただければ幸いです。

さて、母校にも変化がありました。長年(9年もの間)学校を牽引されてきました柳町前校長が退任され、新たに百合新校長へとバトンが渡されました。前校長の推進されてきた柳町イズムは獨協埼玉にとつても、本同窓会においても有形無形問わず計り知れないほどの財産と足跡を残してくださいました。私たち卒業生も母校もこの精神を脈々と受け継ぎ、百合新校長と共に発展し、新たな道を進んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、今後同窓会と母校の発展のため、また少しでも皆様のお役にたてるよう情熱を持って努力してまいります。今までのご理解とご協力を賜ります様よろしくお願いたします。

会報発送停止UNSU

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、35期12,498名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。

同窓会の事業運営費として、1期17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となっております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の会員の方々については、会報の発送を段階的に停止させていただくことと致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただくとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただけますよう、重ねてお願いいたします。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

獨協埼玉高等学校同窓会

玉山 栄一

※ホームカミングデーを区切りとして、会費未納の方への会報発送を停止させていただきます。

新しい風

新任教員紹介

成長の喜び



増田 広樹

何事にも一生懸命に



笠原 亮太

共に学ぶ



岩田 紀子

楽しい獨協埼玉生活を



板倉 晃希

こんにちは。今年度より本校で勤めることになりました。増田広樹と申します。担当教科は英語で高校女子エース部を担当しています。高校1年生の副担任をしています。

獨協埼玉中学高等学校で働き始め、3ヶ月がたちました。さまざまな行事や、日頃の様子を見ていて、自分で考えて行動できる生徒が多いと率直に感じました。また中学生・高校生問わず、英語を教えているときに、真剣に授業に取り組み様子や、なんとしてでもわかるうとする様子がすこく伝わってきます。その後、できた喜びを生徒と共に有することは私にとって何よりもうれしいものです。このように生徒の成長がこんなにも間近で見ることができるとは、教員ならではの楽しみです。

この気持ちをいつまでも忘れず、生徒が社会に出て活躍できる人になれるように、これからも生徒の成長に貢献していきたいです。

こんにちは。4月から本校で勤めることになりました。笠原亮太と申します。担当教科は数学科で、中1副担任、中学男子バスケットボール部の顧問をしています。

これまでは、他の私立中高一貫校に勤めておりましたが、本校で勤務することになりました。宜しくお願い致します。獨協埼玉中学校で働き始めてまず感じたことは、生徒が何事においても一生懸命だということでした。勉強だけでなく、部活や委員会、学校行事などあらゆる面に全力で取り組む生徒の姿勢は、他校では中々見られないものでした。私自身、そのような生徒の姿から、刺激を与えられながら日々を過ごしております。生徒が充実した学校生活を送れるよう、精一杯サポートしていきます。どうぞ宜しくお願い致します。

こんにちは。岩田紀子と申します。今年度より高校2年の副担任、中学女子テニス部の顧問をしております。教科はドイツ語と英語です。2013年度より非常勤講師として本校でドイツ語を担当して参りました。獨協埼玉の明るく一生懸命で人懐こい生徒たちと出会うことでドイツ語だけでなく、英語教員免許を取得しようという決心することができました。この度改めて獨玉の一員になることができ、とても嬉しく思います。どうぞ宜しくお願い致します。

4月からは教力月が経過してまいります。今では授業だけでなく、日々の生活や部活動を通じて、生徒たちの一生懸命な姿を目にすることができ、ますます生徒たちと共に成長していけるよう、そして彼らの前進しようとする頑張りに応援できるよう精一杯努力してまいります。

今年度より専任教諭として勤めることになりました。板倉晃希と申します。担当教科は理科(生物)で中学1年生の担任をしています。担当の部活動は高校女子バスケットボール部サイエンス部です。

昨年度までは非常勤講師として勤めていたため、今、生徒と多く関われることが幸せで、毎日が発見の連続です。1人でも多くの生徒が楽しい獨協埼玉生活を送れるように力添えをしたいと思います。

教科としては、とにかく様々なことに関して何故?という疑問を持って欲しいと思います。

そうすることで様々なことへの知的好奇心が生まれ、考える力が付いてくるはずですので、ぜひ沢山吸収していきましょう。

これから長くなりますが、よろしくお願いたします。



第38回 蛙鳴祭 9月16日土・17日日 10:00~15:00

同窓生の皆様、蛙鳴祭が今年も始まります。今年のテーマは蛙魂(かえだま)です。ラーメンでいえば汁に当たる「獨協埼玉の伝統」はしっかりと守りつつ、麺の部分である「斬新で新しい考え」を追加し、より楽しい蛙鳴祭を目指します。

一人ひとりが獨協埼玉の「替え玉」となるよう努めます。皆様が「どったま生」だった頃を思い出しながら、現役中高生の企画をお楽しみください。心よりお待ちしております。

蛙鳴祭ステージ タイムテーブル

▶ 第1体育館

9月16日 土		9月17日 日	
10:30~11:35(65分)	高校演劇部	10:30~11:15(45分)	高校3年1組
11:35~12:25(50分)	コーラス部	11:15~11:40(25分)	ソングリーディング部
12:25~12:50(25分)	ソングリーディング部	11:40~12:30(50分)	コーラス部
12:50~14:10(80分)	吹奏楽部	レビンステージ(10分)	
14:10~15:00(50分)	高校3年1組	12:40~13:30(50分)	中学演劇部
		13:30~14:50(80分)	吹奏楽部

入試ミニ説明会 (小ホールにて)

中学 9月16日 土 11:00~12:00

高校 9月17日 日 11:00~12:00 / 13:00~14:00

退職にあたって



柳町 道廣

平成29年3月をもって9年間の校長職を終えまして、はや3ヶ月が経過しました。先日、同窓会に参加した折に原稿依頼があり、今更という思いがありましたが、これまでの退職者も書かれていますことなので、近況報告のつもりで書きます。

退職が近づいて来た頃からよく言われるようになったことがあります。最初は拘束から解放された気分が毎日楽しい日曜日を満喫できるが、そのうちじわじわと寂しくなるといけません。言われるまでもなく、私も少しは気にとめてはいましたが、辞める前の数ヶ月は気ぜわしくてそんな余裕はありませんでした。もう一つ、私は自分が本来計画性のない怠け者であるということに自覚していたこともあり、充実した生活とは人によってそれぞれ違う認識にたつものだと考えています。どんな立場、どんな時でも、目標を決め、きっちり計画を立てて、毎日少しずつ努力を重ねてゴールに近づけていく。それによって得られる達成感は素晴らしいものであることも、充分理解できます。しかし、どうやら私は性格的にこの種の充実感を求める人間ではなさそうなのです。私、私がそういう生活をする必要があるとすると、それはあくまでも仕事や大切な誰かのために意識的に努力している姿ということになります。辞める前の生活がそれでした。そして今、ようやく何からも拘束されることのない怠け者の充実した生活がスタートしました。私とは正反対の充実した生活感を追い求める連れ合いに、変にバランスのとれた毎日を過ごしてはおります。何もしないのは罪悪、と考える連れ合いにはどんな風に映っているかは別として、食事を含む家事全般を当番制に、ほとんど放置状態だった狭い庭の手入れ、自分の選り好みだけでできる読書、二人で行くドライブや旅行や毎日のウォーキングなど、今のところ心身共に充実の毎日です。そうそう、糖みを漬けの管理も私の役目です。アルコールの代わりに、今流行りの納豆、ヨーグルト、自家製の鶏胸肉チキンサラダ(ヨーグルトとタマネギの搾りおろしで柔らかく)の欠かさぬ作り置きなど、発酵食品中心の食生活は楽しいですよ。スケジュール手帳に代わって献立や得られた新知識を気ままに書いておくだけの日記代わりのノートが新たに加わった友達です。

最後に皆さん、若いうちは緊張感と夢をもって仕事に精を出して充実した人生を過ごして下さい。私は大好きな見沼田圃に抱かれて、孫に会えるのを楽しみに、生涯のパートナーと充実した毎日を送っておりますので、ご安心下さい。長い間、本当にお世話になりました。また獨協埼玉でお会いしましょう。



浅川 之雄

3月末をもって36年間の獨協埼玉高校での教員生活に終止符を打ちました。気力、体力とも「まだまだやれる」という気持ちはありましたが、第二の人生に向け、再スタートを切ることにしました。36年という長きに渡り私の教員生活を支えてくださったたくさんの方々の生徒たち、保護者の皆様、そして教職員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

現在、週4日のベースでレッス仲間やサークル仲間とテニスを楽しんでいます。とは言うものの、週4は心身の負担も大きく、疲労は残るし試合はいつも勝つわけはありません。今は難行苦行の修行僧のような毎日です。テニス肘で約3週間の故障者リストにも入りもしました。これはこれで心が折れそうなお日々でした。

退職後に「退職病」に陥るかと心配でしたが、テニスコートと近くの図書館に通い、曜日や時間の感覚も現役時代と変わりなく過ごしています。

8月にはシングルス、10月にはダブルスの市内大会があり、相手よりも1球でも多く返球することをめざして練習に励もうと思っています。(もともと、敵は相手ではなく怪我や故障かも...)。長い間、お世話になりました。



中山 郁雄

この3月で、無事に定年退職しました。これも、保護者先生方、そして、何といたっても、卒業生の皆さんのお陰と心から感謝しております。

私が、獨協埼玉を初めて訪れたのは、いまから37年前のことであり、その日に当時の校長である矢嶋先生の面接を受けたことを記憶しております。その次の年(開校の2年目)に高校2年の化学の授業を受け持ち、それ以来、36年が過ぎました。獨協には、目白にある高校の非常勤講師をしており、今年も、ありがたいことに非常勤(委嘱)講師をさせていただき、39年もの長きわたり獨協にお世話になることになりました。しかし、この39年は、私にとつて、あつと言ふ出来事であり、そんなに長いという感覚はありません。どうして、そういう感覚になるかを考えると、獨協埼玉のカラーが、私にあっていたのでないか、つまり、自然体でいられたからこそその感覚ではないかと思えます。

授業でいえる、年間に約20テーマの実験を実施した「化学演習」や初歩の相対性理論を内容とした「理科研究」は、私が自由に組み立てる事を許され、生徒たちも本当に素晴らしいレポートを書いてくれました。また、時代の流れに入り、以前より受験を意識するようになると、二つの難解な入試問題を生徒たちと、いっしょに解き、解けたときの喜びを共有できたこともあり、ました。

担任としては、いろいろな事情を抱えた生徒が、私に心を開いて話してくれたこともあり、ました。時には、一緒に涙したこともあり、ました。

どれをとつても、私には過ぎたことであります。ですから、獨協埼玉であつたすべてのことに感謝しないられません。本当にありがとうございました。

第20回 同窓会総会・懇親会開催

決算・予算報告

平成28年度 同窓会決算書		支出の部	
H28年4月1日～H29年3月31日			
収入の部		支出の部	
前年度繰越金	30,601,339	次年度繰越金	31,938,037
終身会費卒業生	3,560,000	総会・懇親会費用	672,149
終身会費既卒生	70,000	会報費	1,101,886
利息	171	幹事会費	40,000
総会・懇親会会費	68,000	同窓会データメンテナンス代	36,180
祝い金	0	慶弔費(花束)	16,200
雑収入	0	事務費	0
		HP関連	24,864
		卒業証書フォルダー	431,300
		ネックストラップ(名札)	8,894
		学校祭パンフレット広告費	30,000
合計	34,299,510	合計	34,299,510

平成29年度 同窓会予算(案)		支出の部	
収入の部		支出の部	
36期生 終身会費	3,390,000	総会・懇親会費用	800,000
H28年度より繰越金	31,938,037	20周年記念事業費	800,000
		会報費	1,400,000
		幹事会費	50,000
		慶弔費(花束)	30,000
		卒業アルバム保管用	10,000
		企画費	500,000
		卒業証書フォルダー	500,000
		HP関連	25,000
		娃鳴祭パンフレット紙面代	30,000
		予備費	31,183,037
合計	35,328,037	合計	35,328,037

今年も暑い中、6月24日(土)に第20回同窓会・懇親会が開催されました。総会では事業報告会計報告に加え、同窓会役員一部変更・平成29年度事業計画並びに予算案などが承認されました。また、玉山会長より同窓会20年記念行事に向けた企画等についてのお話がありました。

その後、懇親会では、柳町先生にもご参加いただき、在学されていた当時のお話やご退職後の生活について聞かせていただきました。今回も卒業して間もない同窓会生に多く参加していただき、年齢関係なく話し合う、活気に満ちた懇親会となりました。秋には同窓会20年記念行事が行われ、行事に向けて、さまざまな企



画等を考案中です。年齢に関係なく、様々な卒業生が交流できるような行事になればと思います。学校見学と兼ねて、ぜひ総会や懇親会、記念行事に足をお運びください。

私が顧問になったときには、高校生が7名ほどしかおりませんでした。しかし、中学剣道部を新しく設置したことで、最初の中学生部員が18名(中学2年2名・1年生16名)とたくさん入部し、それをきっかけに、その後は活発に活動してきました。

当時の高校生たちは、非常に中学生の面倒見がよく、自分たちの稽古もそっちのけで、初心者だらけの中学生部員を厳しくかつ優しく育ててくれたすばらしい高校生たちでした。そのおかげもあり、中学生部員たちは剣道を好きになり、上下関係の厳しさや稽古の厳しさをきちんと肌で感じる事ができました。

大会では新しい学校の出現で、初年度から注目を浴びてきました。特に中体連では、部員数の多い学校として認識され、きつと強豪校なのであると思うところから始まりました。しかし、初心者たちの集まりで始まった中学剣道部。いきなりの大会で勝てるはずもなく、結果は惨敗なものでありました。ところが、高校生と毎日「稽古ができた」という中高貫のメリットも大きく、中学生たちはたくましく成長し、越谷市の中では上位に常連となるレベルまで成長してくれました。その中学剣道部一期生の生徒が高校に上がった時に越谷大会で男女アベック優勝したことは、今でも記憶に強く残っています。

その後、中高一貫の良さを持った剣道部として、高校生が中学生を指導する伝統は今もしっかりと受け継がれ、さらには新しい風を吹かせる生徒もたくさん入部卒業し、ますます伝統は磨かれながら、現在も中学は県大会出場(残念ながら今年度は出場ありませんでしたが...)、高校は県大会はもちろん東部でも上位に入賞するレベルを維持しています。

今現在、格技場は改築され、全面板間の試合場が2面とれる道場になりました。卒業生の皆様、特に私の就任する前の剣道部の皆様にも新しい剣道場で、新しい剣道部員と剣を交えてほしいと思います。今後とも応援のほどよろしくお願いたします。

(顧問 母里 経弘)

【部活動紹介】

なつかしきあの頃 第18回

剣道部



剣道部は、獨協埼玉中学高等学校の施設の中でもわかり難く、普段の生活ではなかなか足を踏み入れる機会も少ない「格技場」で活動しています。

さて、私が剣道部の顧問になったのは10数年前になりました。私が本校に就任する以前に活動していた剣道部があり、一度廃部になったと伺っていた。その後、数人の生徒が再度新たに剣道同好会を発足するための活動をし、紀内先生が顧問として2度目の剣道同好会が作られました。

その翌年に同好会から部へ昇格し、私が剣道経験者であることもあり、紀内先生と一緒に顧問として中学高校の剣道部を担いました。また、コーチの浅岡先生も同時に指導者として部に携わってくれました。それが2004年になります。

私が顧問になったときには、高校生が7名ほどしかおりませんでした。しかし、中学剣道部を新しく設置したことで、最初の中学生部員が18名(中学2年2名・1年生16名)とたくさん入部し、それをきっかけに、その後は活発に活動してきました。

当時の高校生たちは、非常に中学生の面倒見がよく、自分たちの稽古もそっちのけで、初心者だらけの中学生部員を厳しくかつ優しく育ててくれたすばらしい高校生たちでした。そのおかげもあり、中学生部員たちは剣道を好きになり、上下関係の厳しさや稽古の厳しさをきちんと肌で感じる事ができました。

まほろばの会 33期 報告

第33期の「まほろばの会」は、2017年2月18日、在学中にも仲間と集った食堂で開催しました。

当日は、120名余の旧友と顔を合わせ、そして在学中に大変お世話になった先生方と再会する本当に大切な時間となりました。

卒業式以来、久しぶりに会った友人やクラスメイトはわずかに年足らずしか経っていないのに、ことごとく大人に感じるところがありました。けれど、も会話が始まると昔と変わらず大声でふざけあつたり、大声で笑つたりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

会場には、私達の学年主任の中山都雄先生をはじめ、当時担任をしてくださっていた先生方が多くいらつしました。先生方と在学中の話で盛り上がり、近況を報告させていただく中で、改めて獨協埼玉高等学校に在籍していた当時は懐かしく思い、大切な時間であったと心から思いました。お忙しい中、お時間をくださいました先生方、本当にありがとうございました。

まだまだ先のことですが、40歳になったら「ホームカミングデー」でまた再会し、昔話に花を咲かせたいと今からとても楽しみにしています。最後になりましたが、案内状や当日の準備など協力してくださった先生方、そして各クラス幹事のみならず、この場を借りまして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

第33期「まほろばの会」代表幹事 山田 優太



案内 34期生「まほろばの会」開催について

2018年2月17日(土)午後、懐かしの食堂に集合!

2016年3月に卒業した34期生のみなさん、学年主任であった三国美智子先生をはじめ、担任をくださった先生方と、20歳をお祝いしよう! 多くの34期生が集うことを楽しみにしています。



教育実習を終えて

●宮本 ひかり

3週間、あっという間でし
た。実習中、教師という職業
は、経験したことが、学んできたことをすべて活かすことの
出来る職業だと、先生方からお
話しいただいたことがありま
した。短い時間、実習生とし
てですが私もこのことを強
く感じました。そしてこの難
しさも感じました。大学まで
は自分のために勉強して、自
分自身の中にそれを積み重
ねて行けば事足りました。し
かし生徒へそれを伝える、分
かづらうというためには
なりません。この見せ方とい
うことに実習中とても悩ま
されていく。そしてこれを良
くしていく。鍵は、生徒のこと
を考へること、よく見るこ
だということが分かりまし
た。しかし分かったからとい
って、そう上手く出来るわけ
ではありません。このように
実習中は自分が至らないと
思うことばかりです。しかし
生懸命話を聞いてくれたら
ち、そしてお忙しい中ご指導
くださる先生方のおかげで、

実習前より確実に成長する
ことが出来ました。頂いたこ
とを忘れず、活かしていきたい
と思います。

●小日向 成矩

私が教育実習で特に難し
く感じたことは教壇実習で
す。授業をどのように展開
するか悩み、試行錯誤しなが
ら教材研究を行っていました
。私自身は教材研究に時
間がかかりましたが、先生方
は校務も並行して行ってい
ることを考えると学校現場の
忙しさがよくわかりました。
生徒を相手に教壇に立つて
黒板で授業をした経験がな
かったので、授業の中身以外
にも時間の配分や黒板の使



い方にも苦戦しました。ま
た、物事をどのようにして教
えるのか、生徒にとっての
ような表現ならば、理解しや
すいのか、伝えることの難し
さが教育実習を経て、より実
感しました。
やりがいのあったことや嬉
しかったことは、自分自身が
教壇実習を通して成長でき
た点です。最初は慣れないこ
とが多く、授業の改善点が
多々ありましたが、課題を1
つ1つ克服して、質を高める
ことができたのではないかと
感じています。3週間という
期間でしたが、今までではな
いとても充実した時間では
ない。ありがとうございました。

13期生ホームカミングデー報告

「40歳になったら学校へ行こう」を合い言葉に、昨年10月18日に行われた13期生のホームカミングデーには、100名ほどの卒業生が母校の学舎に集まりました。遠くは福岡、大阪や愛知からも来てくれました。

「会うのは卒業以来」という同級生もたくさんいましたが、22年前の記憶が昨日のこのようによみがえりました。既にご退職になった方も含めてお世話になった担任の先生方にもご出席いただき、お話をいただきました。

会場では在学当時の話に花が咲き、あっという間の2時間でした。その後も2次会・3次会とせんげん台駅近くの居酒屋で旧交を温め、改めてよき同窓生に恵まれたことを感謝した次第です。

残念ながら今回のホームカミングデーには不参加となった同窓生も、同窓会総会をはじめとした同窓会のイベントには、ぜひ、ご参加下さい。

今秋は14期生のホームカミングデーとなりますが、同窓会のよき伝統を今後ともぜひ受け継いでください。

(13期生 櫻井 広仁)



(収入)
¥3,000 × 77人
= ¥231,000
計 ¥231,000

(支出)
幹事代行費用
171,960円
(案内状郵送費、飲食代、
お花代、雑費、運営一式含む)

(残金)
¥59,040
※尚、残金は、14期ホーム
カミングデーに寄付
させていただきます。

S52、S53年
生まれ

祝! 2nd成人式!

14期生ホームカミングデー開催!!

今年40歳を迎える14期生の皆さん(S52、S53年生まれ)、お待たせしました!! 同窓会「ホームカミングデー」の開催です。20歳が大人の仲間入りの歳ならば、40歳は本当の大人として輝く歳です!

そんな記念すべき年に母校で、懐かしい仲間やお世話になった先生方と思い出に残る1日を過ごしましょう!!

一人でも多くの参加をお待ちしております!!

日時 平成 29年 10月 15日(日)

- 一次会/受付10:30 開会11:00
獨協埼玉中学高等学校 小ホール
- 二次会/15:00頃～
せんげん台駅周辺を予定



実行委員/山口明 金子純平 金子剛之 木下和俊 加藤悠
濱田(松田)真理子 糸井静香

詳細はこちら!! ▶ Facebookページ **[14期獨玉]**